

部長表彰 優良工事

建築工事課

工 事 名	令和4年度 交通管制センター新築工事（建築）
工 期	令和4年6月7日 ～ 令和6年3月22日
工事概要	庁舎棟 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 1,054.76㎡ 自転車置場 鉄骨造 平屋建 延床面積 16.37㎡ 受水槽ポンプ室 鉄骨造 平屋建 延床面積 4.00㎡ 上記にかかる、建築工事一式（外構工事含む）
受 注 者	平井工業株式会社
技術者名	監理技術者 水本 勝文
表彰理由	本工事は、既設庁舎の老朽化に伴う移転建替えに伴う建築工事である。 建設地は、閑静な住宅街にあり、周囲を一方通行や行止り道路と建物に囲まれた非常に狭いため制約が大きく、安全確保や騒音への配慮が求められた。 そこで、本工事では、近隣住民の通勤通学する時間帯を避け、工事車両の搬出入を行った。 杭工事において地中埋設物により大型の杭打機が必要となったが、前面道路の一方通行規制により大型車両の通り抜けができないため、関係各所との協議により一時的に規制が解除され、進入してきた主要道路から搬出させるなど、適切な施工管理を行った。 また、コンクリート打設など大型車両が多い時は、事前に案内文を自治会を通して広範囲に配布し、近隣とのトラブル防止に努めるとともに、交通誘導警備員を増員配置し、第三者への接触災害防止など安全対策を行った。 更に、足場壁繋ぎ除去跡とその周囲の塗装の均一化を図るため、外壁塗装と同様の膜厚形成した材料でパッチを製作し、壁繋ぎ除去部跡に圧着後上塗材でタッチアップを行うなど、美観を損なわないよう品質向上を行った。 このように、工程管理、安全対策、品質向上について、優れた功績を残し、静岡県における建設業の発展に特に貢献した。



外観



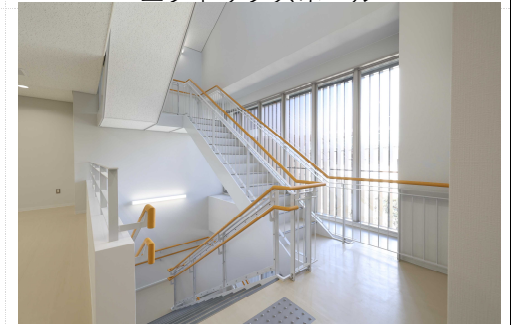
外観



エントランスホール



1F 管制室



階段

部長表彰 優良工事

袋井土木事務所 建築住宅課

工 事 名	令和3年度 県営住宅袋井団地B棟建替事業（建築）工事
工 期	令和4年3月18日 ～ 令和5年7月31日
工事概要	住棟：鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,786.85㎡、45戸 駐輪場：アルミ造平屋建て、延べ面積48.20㎡×1棟、29.64㎡×2棟 外構工事
受 注 者	丸明建設株式会社
技術者名	監理技術者 飯尾 幸弘
表彰理由	本工事は、戸建住宅地に近接する県営住宅の建替であり、近隣住民や既存団地の入居者に特に注意を払う必要があった。また、別契約の電気設備業者、機械設備業者と同時に工事を進めるため、工程や作業ヤード等を調整するとともに総合的な安全管理が必要であった。 受注者は、隔週で実施する定例会議や毎月の安全衛生協議会の他、業者間の会議を積極的に行い、関連工事との調整、現場作業の安全管理、注意事項の共有等を密に行った。これらにより綿密な工程管理及び円滑な現場運営をすることができ、工事故ゼロで工事を完成させた。 品質管理では、杭打ち工事において測量機器の杭打設ナビゲーションシステムを導入し、墨出しや杭打ち後の芯ずれ等の把握を行い、杭工事の精度を上げるとともに、作業の効率化を図った。こうした新しい技術を積極的に取り入れることは、作業の効率化と人手不足の対策にも繋がっている。 施工管理では、仮設電気の引込みを床スラブに配置することで、天候や外部足場の有無に左右されない効率的な作業環境を確保するとともに、作業員の安全確保や、仕上げ部分の保護、汚染防止にも寄与した。また、現場内で発生する泥水や濁水を敷地内に集積し、ノッチタンクを通して上澄みだけを排水し、周辺環境にも配慮した。 その他、工事着手前の近隣説明会で求められた要望に対し、埃対策用の自動車用養生シートの配布や、工事関係車両識別カードの掲示など真摯に対応をし、近隣住民の信頼を得ながら施工を進めていた。 このように、建設業界の課題に積極的に取り組みながら、安全でかつ近隣住民や環境への配慮を疎かにせずに、品質の高い県営住宅を完成させた。



外観（北面）



外観（南面）



スロープ



内装（1DK）



洗面脱衣、浴室

部長表彰 優良工事

静岡土木事務所 建築住宅課

工 事 名	令和3年度 県営住宅押切西団地A棟建替事業（電気設備）工事
工 期	令和4年2月8日 ～ 令和5年9月21日
工事概要	共同住宅 鉄筋コンクリート造4階建、延べ床面積2,379.3㎡（40戸） 駐輪場 鉄骨造平屋建て（4棟）、延べ床面積合計86.12㎡ 上記の新築工事に係る電気設備工事 一式
受 注 者	夏目電気工業株式会社
技術者名	主任技術者 土谷 友和
表彰理由	本工事は、県営住宅押切西団地の既存住棟を解体した跡地に新築するA棟（40戸）の電気設備工事である。 高齢者や身体障害者等に配慮したユニバーサルデザインや、多様なライフスタイルに対応した様々な間取りによる安全快適な住戸とするため、それらに対応した施工が求められた。 本工事の受注者は、建築工事における天井下地の施工に先立ち、他業者との調整を十分に行った上で、天井内部の配線、配管工事及び各種ボックスの配置を完了させ、本工事の作業員等による施工済箇所の接触、損傷や、他業者の作業との輻輳の防止に努めた。また、壁の石膏ボード裏に設置したコンセントボックス等の位置出しにあたっては、磁石付きの製品を使用するなど工夫をこらし、効率化による作業時間の短縮を行った。 また、狭小な敷地内において工期が重複する建築工事、機械設備工事との調整を密に行い、工程に大きな影響を及ぼすことなく工事を完成させた。 さらに、令和4年の台風15号による大規模な被害があった際には、別発注の建築工事及び機械設備工事受注者と協力し現場内のみならず団地周辺の道路や工事車両が通行する道路に堆積した泥の除去及び散水による清掃を行い自治会より感謝状を受領した。



外観（北面）



外観（北面）



メンテナンス通路



ユニットバス



玄関・廊下

部長表彰 優良工事

設備課

工 事 名	令和4年度 交通管制センター新築工事（電気設備）			
工 期	令和4年6月15日 ～ 令和6年3月22日			
工事概要	庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	延床面積	1,054.76㎡
	自転車置場	鉄骨造	平屋建	延床面積 16.37㎡
	受水槽ポンプ室	鉄骨造	平屋建	延床面積 4.00㎡
	上記に係る電気設備工事一式			
受 注 者	株式会社朋電舎			
技術者名	監理技術者 原 伸行			
表彰理由	本工事は、既存庁舎の老朽化による移転建替のための電気工事である。			
	建設地は、閑静な住宅街に位置し、一方通行や行止り道路、隣地建物に囲まれたうえ、施工ヤードが非常に狭いため、工事車両の搬出入及び施工における制約が大きかった。			
	そのため、関連する建築・機械設備工事の施工者と協力して綿密な調整を行うことにより、関連工事での地中埋設物の影響による工程遅延やケーブルの納期遅延等、度重なる現場条件の変化にも追従し、事故なく工事を完成させた。			
	また、商用回路と発電機回路、UPS 回路の3種類の電気配線、コンセント、OA タップを色分けすることで維持管理性の向上に寄与するとともに、敷地の地下水位が高いことを考慮して、高压ケーブルを水トリーに強いタイプへ変更するなど、安全性及び耐久性を向上させた。			
	さらに、本工事完了後に大量の通信機器が納入される事を踏まえ、3DCAD を使用し本工事の機器と施設管理者で用意する通信機器の取り扱いを検討するなど、後工事の円滑な施工にも配慮した。			
	このように、本工事は工程管理や維持管理、安全性の向上、コスト縮減等に高い技術力を発揮した。			



外観



外観



管制室 総合監視盤



機械室 発電機



屋上 キュービクル

部長表彰 優良工事

静岡土木事務所 建築住宅課

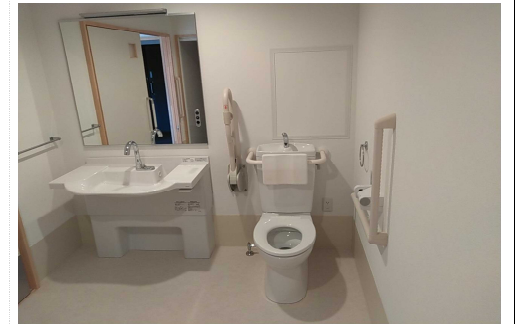
工 事 名	令和3年度 県営住宅押切西団地A棟建替事業（機械設備）工事
工 期	令和4年2月8日 ～ 令和5年9月21日
工事概要	共同住宅 鉄筋コンクリート造4階建、延べ床面積2,379.3㎡（40戸） 駐輪場 鉄骨造平屋建て（4棟）、延べ床面積合計86.12㎡ 上記の新築工事に係る機械設備工事 一式
受 注 者	山武設備株式会社
技術者名	監理技術者 神田 誠
表彰理由	本工事は、県営住宅押切西団地の既存住棟を解体した跡地に新築するA棟（40戸）の機械設備工事（給水設備、給湯設備、排水設備、換気設備、下水道接続）である。 高齢者や身体障害者等に配慮したユニバーサルデザインや、多様なライフスタイルに対応した様々な間取りによる安全快適な住戸とするため、それらに対応した施工が求められた。 本工事の受注者は、梁スリーブ墨出しの際に、口径毎に色分けした梁と管芯を記載した独自の治具を作成し使用することで、位置出し作業を正確かつ容易にし、また、配管の接続部に色付きの接着剤を使用し塗布漏れを防ぐなど確実な施工を実施するとともに、パイプシャフト内の配管に『給水管』等管用途を明示した一目で判別可能な大きさと明示とし維持管理に配慮するなど高い品質を確保した施工を行った。 また、狭小な敷地内において工期が重複する建築工事、電気設備工事との調整を密に行い、工程に大きな影響を及ぼすことなく工事を完成させた。 さらに、令和4年の台風15号による大規模な被害があった際には、別発注の建築工事及び電気設備工事受注者と協力し現場内のみならず団地周辺の道路や工事車両が通行する道路に堆積した泥の除去及び散水による清掃を行い自治会より感謝状を受領した。



外観（南面）



車椅子住戸キッチン



車椅子用住戸トイレ



PS（パイプシャフト）



PS 内配管



PS 内配管表示

部長表彰 優良工事

設備課

工 事 名	令和3年度 大仁警察署庁舎新築工事（機械設備）
工 期	令和3年10月29日 ～ 令和5年6月30日
工事概要	庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 3,658.84㎡ 上記に係る機械設備工事一式
受 注 者	株式会社ワールドエンジニアリング
技術者名	監理技術者 小林 利昭
表彰理由	本工事は、大仁警察署の老朽化に伴う警察署庁舎の新築に係る機械設備工事である。 本受注者は、施工においては、各配管の圧力試験について、水圧試験の前に空圧試験を行ったり、試験時間を通常よりも長時間にするなどを行い品質を向上させた。 また、鉄筋コンクリートの配管貫通用のスリーブは、コンクリート打設後には見えなくなるため、管理表、図面、写真等を活用して、スリーブ箇所、寸法、施工状況が詳細にわかるよう徹底した施工管理を行い、さらに3次元C A Dを用いて、設備スペースでのダクトや配管の複雑な納まりを検討することで、高い精度で出来映えよく工事を完成させた。 また、井戸工事において掘削時に発生する泥水の処理にあたり、デカンター（遠心分離機）を設置し、泥水中の砂やシルト分を除去することで、泥水処理量を減少させ、環境に配慮した施工を行った。 さらに、別途工事の附属棟機械設備工事の工程が遅延した際には、給排水設備や消火設備の接続について十分な調整を図り、本工事を円滑に進めるなど、品質管理や工程管理、環境配慮等に高い技術力を発揮して工事を完成させた。

写

真

令和3年度 大仁警察署庁舎新築工事（機械設備）



外観



受水槽



バリアフリースイート



手洗い



PS (パイプシャフト) 内配管

部長表彰 優良技術者

静岡土木事務所 建築住宅課

工 事 名	令和3年度 県営住宅押切西団地A棟建替事業（建築）工事
工 期	令和4年3月18日 ～ 令和5年9月21日
工事概要	共同住宅 鉄筋コンクリート造4階建、延べ床面積2,379.3㎡（40戸） 駐輪場 鉄骨造平屋建て（4棟）、延べ床面積合計86.12㎡ 上記の新築工事に係る建築工事 一式
受 注 者	平井工業株式会社
技術者名	監理技術者 白鳥 圭
表彰理由	本工事は、県営住宅押切西団地の既存住棟を解体した跡地に新築するA棟（40戸）の建築工事（駐輪場及び外構工事含む。）である。 本工事では当初計画していたルートにある橋梁の耐荷重が不明なため、杭打ち機の通行が許可されないなど、大きな制約が生じた。そこで、本工事の監理技術者は、杭打ち機を分解し小型の搬送車両に変更し、他の道路を使用することとした。 また、過去の類似工事における経験に基づき、コンクリート打継ぎ面の耐久性を向上させるなど、現場の状況に即した適切な工法選択と提案により、確実な施工を行った。 さらに、NETIS登録技術である階高1.9mの「次世代足場」の採用、「快適トイレ」の設置及び現場内で発生する汚濁水の分解処理に「無機質系凝集剤」を使用するなど、施工の合理化、作業環境の改善及び周辺環境への配慮を積極的に行った。 加えて、近隣住民に対して工事内容を丁寧に説明することで、苦情などのトラブルを未然に防ぐとともに、令和4年の台風15号による大規模な被害があった際には、別発注の電気設備工事及び機械設備工事受注者と協力し、現場内のみならず団地周辺の道路や工事車両が通行する道路に堆積した泥の除去及び散水による清掃を行い、自治会より感謝状を受領した。

写

真

令和3年度 県営住宅押切西団地A棟建替事業（建築）工事



外観



外観（南面）



エントランス



ダイニングキッチン

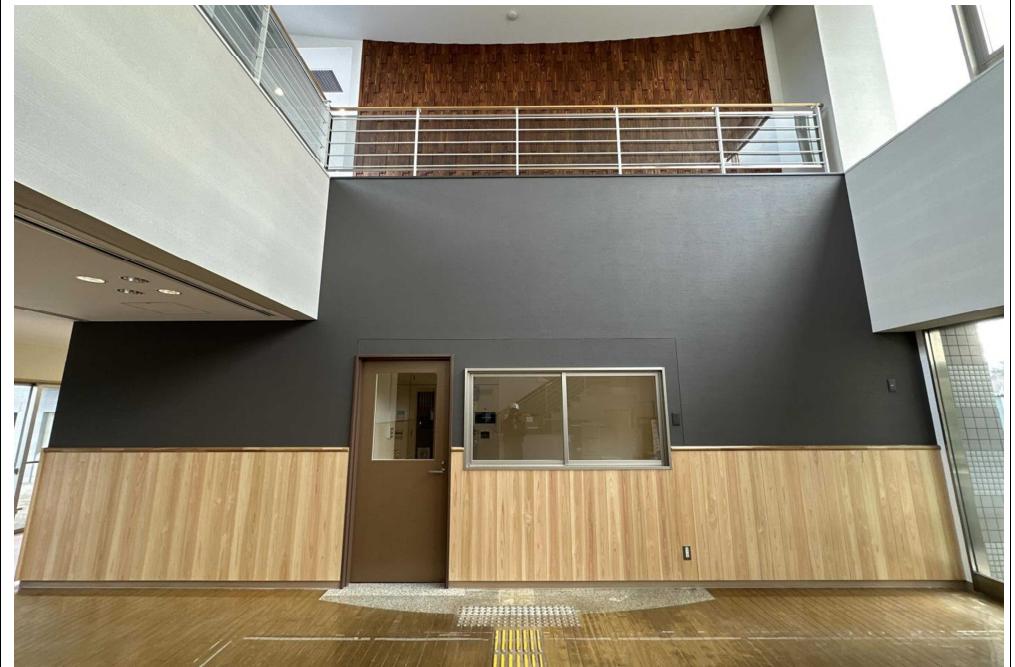


和室

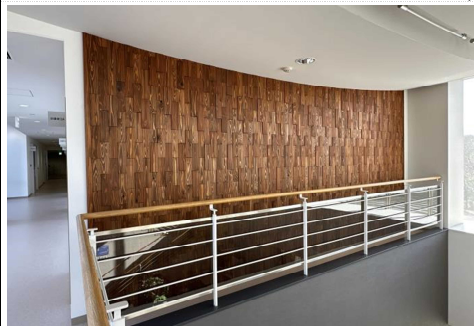
部長表彰 優良技術者

建築工事課

工 事 名	令和4年度 総合健康センター改修工事（建築）
工 期	令和5年2月14日 ～ 令和6年2月29日
工事概要	事務棟：鉄筋コンクリート造3階建て 体育館棟：鉄筋コンクリート造2階建て 大ホール棟：鉄筋コンクリート＋鉄骨造2階建て 延床面積 4,865㎡ 上記に係る改修工事一式
受 注 者	小野建設 株式会社
技術者名	監理技術者 高木 雅人
表彰理由	本工事は、県の感染症対策の司令塔となる「ふじのくに感染症管理センター」を県総合健康センター内に開設するための改修工事である。 当該施設では感染症対策課や指定管理者が執務中のため、工事は、騒音や振動に配慮するほか、作業計画に合わせた執務室の移動及び動線計画の変更に伴う部分使用への対応など確実な工程管理及び安全対策が求められた。 本工事の監理技術者は、施設利用者の安全確保に努め、主体的に別契約の設備工事業者と工程を調整し、工事区画位置の変更や動線の確認を行い、予定通り部分的な供用を開始することができた。騒音や振動が発生する工事についてはあらかじめ関係者に周知するとともに、作業前日に直接施設利用者へ作業内容の説明を行い、工事区画に防音材を設置するなどの対策を行った。 また、検査機器に関して、現地を実測したところ配置の変更等が必要となったが、事業課と機器の仕様や動線について打合せを重ね、多数の要望を整理し、壁や建具の位置を調整したことで、納まりがよく、使いやすい仕上がりとなった。 このように本工事は、施設を利用しながらの工事であったが安全対策、工程管理等で高い技術力を発揮し、優れた出来映えとなった。



1階ホール



吹抜け



執務室



情報センター



外部

部長表彰 優良技術者

建築工事課

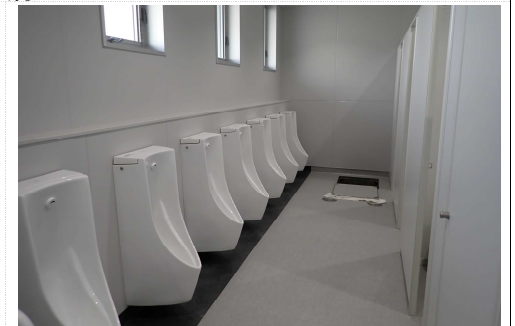
工 事 名	令和4年度 浜松工業高等学校第1工場新築他工事（建築）
工 期	令和5年3月1日 ～ 令和6年3月5日
工事概要	【新築】 第1工場 鉄骨造 平屋建 延べ面積 1,186.06㎡ 渡り廊下 鉄骨造 平屋建 延べ面積 81.19㎡ 上記に係る建築工事一式 【解体】 プレファブ倉庫 鉄骨造 平屋建 延べ面積 70㎡ 上記に係る解体工事一式
受 注 者	須山建設株式会社
技術者名	監理技術者 木野 真生
表彰理由	本工事は、建物の老朽化に伴う校舎本館の建替え工事に先立ち、本館の建替用地を確保するため、新たに第1工場を建築したものである。 周囲を既存校舎に囲まれた学校敷地内における工事のため、学校運営スケジュールに合わせた工程調整や安全管理が必要な工事であった。 本工事の監理技術者は、工事の定例会議以外にも、頻繁に施設管理者とコミュニケーションを図り、安全かつ工期に余裕を持って工事を完成させた。 工場の土間コンクリート工事では、生徒の実習における平滑性の確保や、重量物の設置、運搬への耐久性等が求められるなか、ひび割れ防止のため、材料や工法の選定、打設計画の検討に取組み、良質な品質を確保した。 また、ICT重機による掘削深さの管理、BIMを用いた土量積算や配筋干涉検討・配筋検査等の実施、鉄骨建て方精度自動計測など、先進的な技術による省力化・効率化のほか、若手技術者とともに安全性や品質の向上に積極的に取り組んだ。 更に、躯体工事と仕上工事の段階で、建築科及び土木科の生徒を対象とした見学会の開催により、工業高校の生徒に実学の間を提供し、建設産業の担い手確保にも貢献した。 このように、本工事は、緻密な品質管理、ICT技術による省力化、建設産業の担い手確保等について優れた技術力・指導力を発揮し、優れた出来映えとなった。



内観



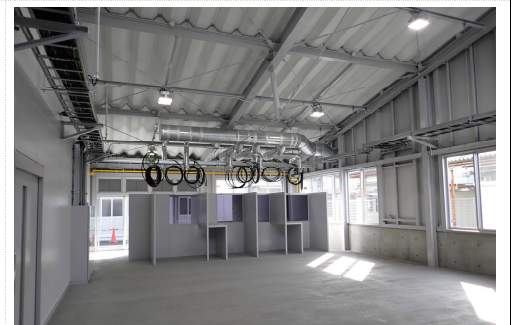
外観



便所



在校生現場見学会



内観